

令和3年度

適性検査Ⅰ

注 意

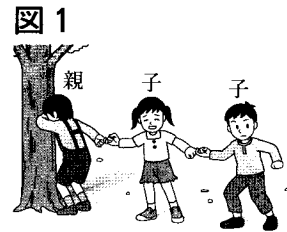
- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、【問1】から【問4】まであり、問題冊子の2～11ページに印刷されています。
- 3 2枚の解答用紙それぞれに氏名、受検番号をまちがいのないように書きましょう。
- 4 問題冊子とは別に、2枚の解答用紙（解答用紙①は【問1】から【問3】用、解答用紙②は【問4】用）があります。解答は、すべて解答用紙の の中に書きましょう。
- 5 検査が始まってから、印刷がはっきりしないところや、ページが足りないところがあれば、静かに手をあげてください。
- 6 下書きなどが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いましょう。
- 7 字数を指定された解答については、句読点（。、）や、かぎカッコ（「 」『 』）なども1字に数えて答えましょう。
- 8 算用数字で答える場合は、2桁ごとに1マスを使いましょう。
- 9 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きましょう。
- 10 ふりがながふってある文字については、答えをひらがなで書いてもかまいません。

【問1】 太郎さんの学級は、アメリカの中学生と交流する予定です。一緒に日本の遊びをしたかった太郎さんたちは、日本の遊びに似たものがアメリカにもあるのではないかと考え探しているうちに、だるまさんがころんだに似たレッドライト・グリーンライトを見つけました。どのくらい似ているのか確認するため、それぞれのルールをまとめ、まずは自分たちで遊んでみました。各問いに答えなさい。

ルール *親はオニ・リーダーなどを示す。子は親以外の参加者を示す。

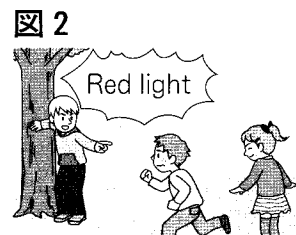
だるまさんがころんだ

- ① 親を1人決め、子は親からはなれてスタートラインにならぶ。
- ② 親は、子がいる方向と逆の方向を向く。子は、親が子の方をふり向くまでの間、親にタッチするために親に近づくことができる。
- ③ 親は、「だ・る・ま・さ・ん・が・こ・ろ・ん・だ」と言う。最後の「だ」を言うのと同時に子の方をふり向く。子は親がふり向くと同時に止まる。そのとき、動いていた子は、親に指名されてつかまる。
- ④ 親につかまった子は、親と手をつなぐ。2人目以降は親と手をつないでいる子とじゅずつなぎになる(図1)。
- ⑤ 親が子を全員指名するか、子の1人が親にたどり着くまで②~④をくり返す。
- ⑥ 親が子を全員指名したら、最初に指名された子が次の親になる。
- ⑦ 子が親にたどり着いたときに、親につかまっている子がない場合は、子は親にタッチする。タッチされた親は、次のゲームでも親を続ける。
- ⑧ 子が親にたどり着いたときに、親につかまっている子がいる場合は、親にたどり着いた子が「切った」と言いながら、親と子のつないだ手を手刀で切る。同時にすべての子は親から逃げる。親が10数えて「止まれ」と言ったら、子はその場で止まる。
- ⑨ 親は10歩移動し、近くにいる子にタッチする。タッチされた子が次の親になる。子にタッチできなかったら、次も親を続ける。



レッドライト・グリーンライト

- ① 親を1人決め、子は親からはなれてスタートラインにならぶ。
- ② 親は「Green light (青信号)」と言って、子がいる方向と逆を向く。子は、親が子の方をふり向くまでの間、親にタッチするために親に近づくことができる。
- ③ 親は、自分の好きなタイミングで「Red light (赤信号)」とすばやく言いながら、突然ふり向く。子は、親がふり向くと同時に止まる。そのとき、動いている子がいたら、親は指名する(図2)。
- ④ 子は、親に指名されたら、スタートラインにもどり、再びゲームに参加する。
- ⑤ 子の1人が親にタッチするまで②~④をくり返す。
- ⑥ 親は、子にタッチされたら、その子と親を交代する。



太郎さんたちは、それぞれの遊びを実際にやってみた後、気づいた点について出し合い、一緒に遊ぶためにはどのように説明すればよいかを話し合いました。

話し合い

ゆい：レッドライト・グリーンライトは、スタートラインから子が親に近づいていくところとか、**だるまさんがころんだ**と似ていたよね。

花子：そうだね。親がふり向くときに子が動きを止めたり、親が見ていないときに子が近づいたりするところも同じだね。

太郎：でも、親がふり向くタイミングがちがっていたよ。

花子：確かにそうだね。レッドライト・グリーンライトは、突然言葉を言ってふり向くのに対して、**だるまさんがころんだ**は、から、子はある程度動きを止めるタイミングがつかめるね。

太郎：でも、逆に、**だるまさんがころんだ**より、レッドライト・グリーンライトの方が、親に近づくときにスリルがあって面白かったよ。

ゆい：指名された子が、その後どうするのかについてもちがっていたね。

花子：レッドライト・グリーンライトは、指名されるとけれど、再チャレンジできるから楽しかったよ。

ゆい：どちらの遊びも、子が親にタッチしにいかうとする動きは同じだけれど、a 子が親にタッチした後に、だれが次の親をやるのかはちがうね。

花子：そうだね。アメリカの中学生と一緒に**だるまさんがころんだ**をするには b 子が親にたどり着いたときの状況によって、その後の動きがちがうことも説明した方がいいね。

ゆい：似ていると思ったけれど、比べてみるとずいぶんちがうね。

太郎：ほくもそう思う。レッドライト・グリーンライトでは、続けようとしないと遊びは成り立たないけれど、逆に**だるまさんがころんだ**では、続けようとするとう遊びは成り立たないよね。**だるまさんがころんだ**を一緒に楽しめるように、このちがいをしっかり説明することが大切だね。

- (1) と に当てはまるふさわしい言葉を、ルールをもとにそれぞれ書きなさい。
- (2) 下線部 a について、どのようなちがいか、そのちがいを親という言葉を使って書きなさい。
- (3) 下線部 b について、**だるまさんがころんだ**では、子が親のところにたどり着いたときに、2つの状況が考えられます。どのような状況か書きなさい。
- (4) に入るふさわしい言葉を「～が～を」の形で書きなさい。

【問2】 花子さんと太郎さんは、「お弁当の日」に持ってきた弁当箱について話しています。各問いに答えなさい。

花子：太郎さんは、新しいお弁当箱だね。どうしてそのお弁当箱を選んだの。
 太郎：ぼくは赤が好きだから、このお弁当箱が気に入ったんだよ。それから、しるもれしない機能や保温の機能もあるよ。どうして花子さんはそのお弁当箱を選んだの。
 花子：私は、形がハートだからこのお弁当箱にしたの。大きさも小さめだし。お弁当箱を選ぶ理由は人それぞれだね。みんなはどんな理由でお弁当箱を選んだのかな。

(1) 花子さんたちは、学級の仲間に自分の弁当箱を選んだ理由についてアンケートをとったところ、様々な理由が出てきたので、整理することにしました。まず、出された理由をカードに書き出し、次にそれらを関連するもので結び付けたり、キーワードでまとめたりして図1、図2のように整理しました。

図1

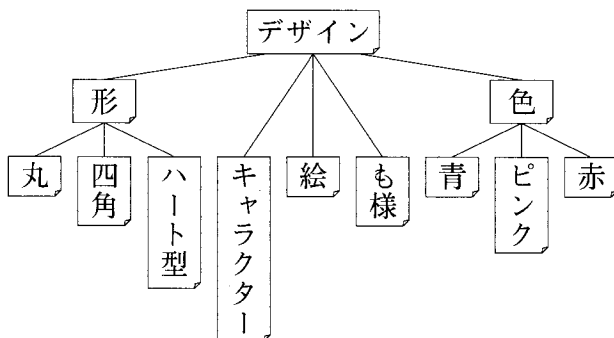
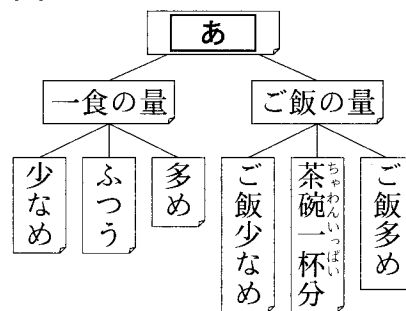


図2



- ① 図2の「あ」に当てはまるふさわしい言葉を書きなさい。
- ② 図1、図2の分類に入らなかった、残ったカードを使って図3を完成させます。「い」～「か」に当てはまる最もふさわしいカードを、残ったカードの「ア～オ」から1つずつ選び、それぞれ記号で書きなさい。

残ったカード

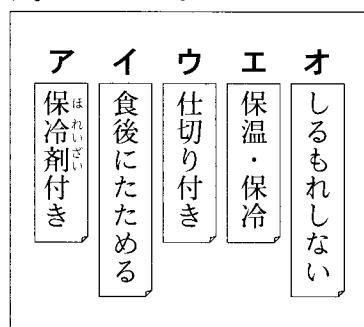
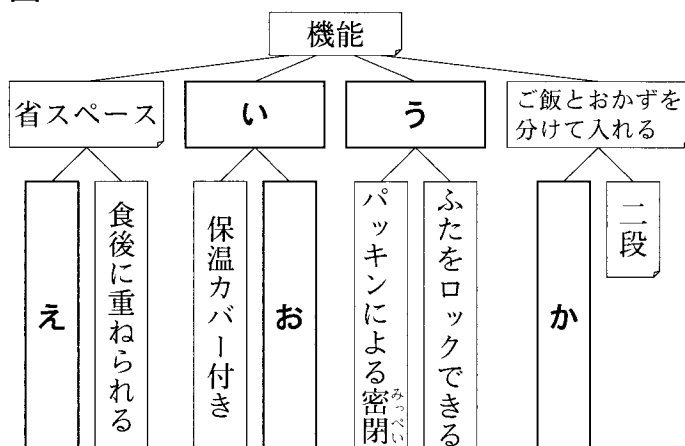


図3



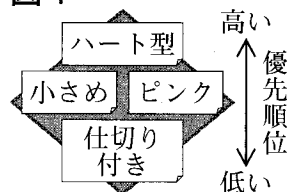
(2) 2人は、弁当箱を選んだ理由について会話をしています。

会話

太郎：いろいろな人に話を聞いてみて思ったのだけれど、お弁当箱を選んだ理由は1人1つとは限らないよね。花子さんは何を大事にして選んだの。

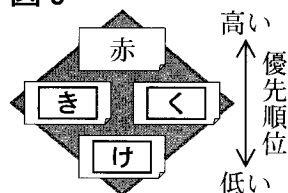
花子：私は、ハートの形と小さめなところ。それから色がピンクで、仕切りが付いていたこと。私が選んだ理由をカードに書いて、優先順に並べてみたよ(図4)。太郎さんの理由はどうかな。

図4



太郎：ぼくが一番大事にしたのはやっぱり赤色。保温についてはあまり考えていなかったけれど、しるもれしないということや、たくさん入ることは必要だと考えたよ(図5)。

図5



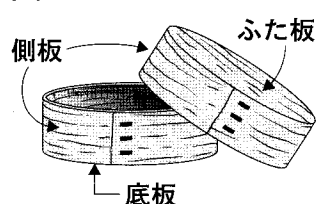
花子：改めて、図1から図5を見直してみると、私と太郎さんが選ぶときに一番に大事にしたのは **こ** という点で共通しているね。

- ① 会話をもとに、図5の **き** ~ **け** に当てはまるふさわしい言葉を、会話からぬき出して、それぞれ書きなさい。
- ② **こ** に当てはまる最もふさわしい言葉を、図1~図5のカードから1つぬき出して書きなさい。

(3) 2人は、先生の本のお弁当箱(図6)について先生と話しています。

花子：そういえば、先生のお弁当箱は木でできていますね。なぜ先生は、木のお弁当箱を選んだのですか。

図6



先生：木のお弁当箱は、冷めてもご飯がおいしいということが一番の理由です。それに、この木のお弁当箱は、めずらしい作り方をしているのですよ。

太郎：どんなところがめずらしいのですか。

先生：秋田県はスギ、青森県はヒバを使うなど、木のお弁当箱は全国各地で作られています。でも、長野県のある地域ちいきで作られているこの木のお弁当箱は2種類の木が使われているから全国でもめずらしいのです。

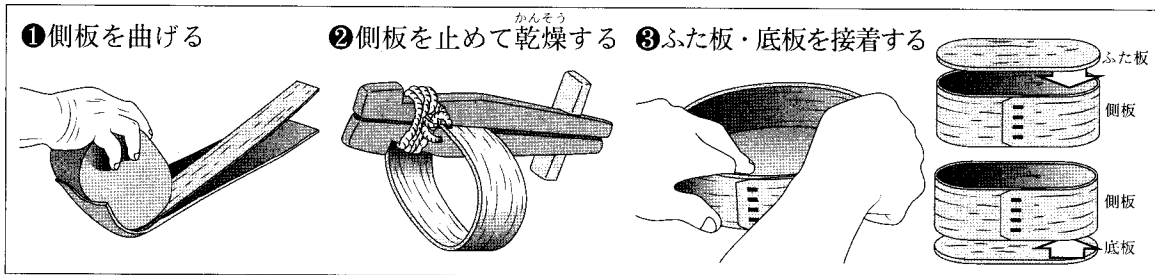
花子：その2種類の木は何という名前ですか。

先生：ヒノキとサワラです。この2種類の木でできているのにも理由があってそれぞれの木のよさをいかすために、お弁当箱の側面(側板)と、上下の面(ふた板・底板)は別の材料が使われています。

花子：先生の本のお弁当箱は手がこんでいるんですね。

木のお弁当箱に興味をもった太郎さんたちは、作り方を示した図7を見つけ、話しています。

図7



太郎：図7を見ると、1枚のうすい板を曲げて作られた側板に、小判型のふた板や底板を接着して作っているんだね。でも、側板と、ふた板・底板は、それぞれ、ヒノキとサワラのどちらを使っているのかな。

花子：先生は、それぞれの木のよさをいかしていると言っていたよ。2つの木の特ちょうを調べてみたら、何かわかるかもしれないよ。

太郎さんは、側板と、ふた板・底板に、それぞれ、ヒノキとサワラのどちらが使われているのか調べるために、資料を見つけ、それぞれの特ちょうを表にまとめることにしました。

資料

ヒノキ…福島県東南部以南の本州、四国、九州に分布。スギに次いで造林数が多く、スギとともに日本の代表的な木材。ねばりがあり、割れにくい性質がある。曲げる加工にも適しており、うすい板でも曲げることができる。寺や神社の建築資材として使われることが多い。

サワラ…本州の北部から九州北部にわたって分布。特に中部地方の山岳地帯で目立つ。造林されることもあるが、多くはない。柔らかく、割れやすい性質がある。割る、切る、削るという加工に適しており、曲線にも切断しやすい。使い道として、下駄や障子のわくがあげられる。

(製材・加工業者への取材より作成)

① 資料は分布、造林数、性質、適した加工、使い道の5つの観点について書かれています。この5つの中から、木のお弁当箱の側板とふた板・底板にどちらの木が使われているのかを判断するために必要な観点を2つ選び、それぞれ書きなさい。また、その観点について、ヒノキとサワラのそれぞれの特ちょうを、資料の言葉を用いて書きなさい。なお、それぞれの解答については解答らんの表の対応する空らんを書くこととします。

② 資料をもとに、木のお弁当箱の側板とふた板・底板に使われている木の名前をそれぞれ書きなさい。

【問3】 家族で県内旅行に出かけた太郎さんは、休けいのために寄った「道の駅」で、家族と話しています。各問いに答えなさい。

太郎：広い^{ちゅうしやじょう}駐車場だけではなく、お土産^{みやげ}を売る売店やレストランもあるんだね。

父：ここは、道の駅という休けいをするための場所だよ。

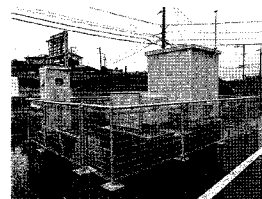
太郎：去年の旅行のときに寄ったサービスエリアと似ているね。

父：道の駅とサービスエリアには、ちがいがあるんだよ。くわしく調べてごらん。

妹：見て。駐車場のすみに大きな箱のようなもの（**図1**）があるよ。

父：あれは、非常用発電機だよ。他にも、b 同じ目的をもった設備がいくつかあるはずだから探してごらん。

図1



- (1) 下線部 a について、太郎さんは資料1、資料2を見つけ、それをもとに**考え1**をまとめました。考え1の **あ** ~ **う** に当てはまるふさわしい言葉を、それぞれ3字以上5字以内で資料1または資料2からぬき出して書きなさい。

資料1

^{ちようきより}長距離ドライブが増え、^{こうれいしや}女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、道路交通の円滑な流れを支えるため、安心して自由に立ち寄れ、利用できる快適な休けいのための空間が一ぱん道路にもほしいというニーズに応え、道の駅がつくられるようになりました。

資料2

高速道路の休けいし設は、提供^{ていきよう}するサービスの内容、休けいし設^{そうご}相互の位置関係によりサービスエリアとパーキングエリアに区分され、一ぱん的に、サービスエリアには休けい所、駐車場、トイレに加え、売店、食堂、給油所などが備わっています。

(資料1、資料2は、国土交通省ウェブページより作成)

考え1

道の駅もサービスエリアも **あ** という点では同じだが、サービスエリアが **い** におけるし設であるのに対し、道の駅は **う** におけるし設である。

- (2) 下線部 b について、太郎さんは**図2**～**図4**を見つけました。これらは道の駅のある働きのために設置されています。それはどのような働きか、書きなさい。

図2 防災倉庫



図3 非常用トイレ

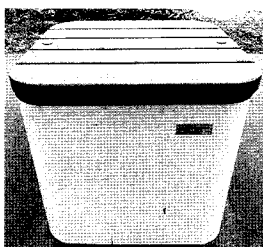
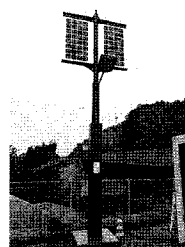


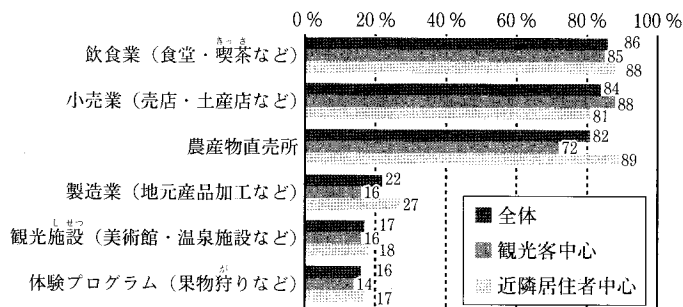
図4 非常用コンセント付き照明灯



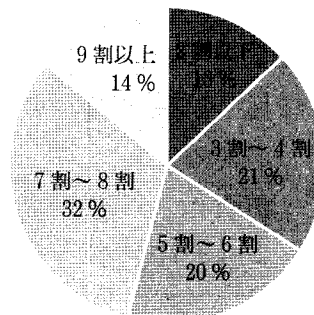
(3) 道の駅の店についても興味をもった太郎さんは、さらに資料3～資料7を見つけ、それらをもとに考え2をまとめました。考え2の **え** ～ **く** に当てはまるふさわしい言葉をそれぞれ書きなさい。ただし、「観光客中心」は観光客割合7割以上、「**※**近隣居住者中心」は観光客割合7割未満を指すものとします。

※近隣…近所

資料3 各事業を運営している道の駅の割合



資料4 道の駅の観光客割合の分布



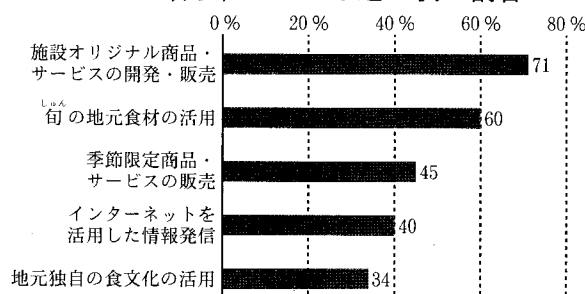
資料5 旅行先で土産品を選ぶ際に重視すること

- 1 *地場産品であること
- 2 そこでしか購入できない商品であること
- 3 試食したらおいしかった

※地場…地元

資料7 地場産品の*付加価値向上策に

取り組んでいる道の駅の割合



※付加価値…生産段階で新たに加わった価値

資料6 旅行先で食事を選ぶ際に重視すること

- 1 その土地の名物料理であること
- 2 新鮮な食材を使っていること
- 3 地元でとれた食材を使っていること

(資料3、資料4、資料7は、公益財団法人日本交通公社「道の駅における観光経済効果調査」より作成)

(資料5、資料6は、公益財団法人日本交通公社「※旅行アクティブ層を対象としたインターネット調査」より作成)


※旅行アクティブ層…旅行好きで年に何度も旅行している人々

考え2


- ・観光客は、旅行先での土産品や食事に対して、**え** のものという点を重視している。各道の駅では、そうした観光客のニーズに対応するため、オリジナル商品の開発・販売に加え、**え** の食文化や食材の活用、**お** の商品の販売など、工夫に取り組んでいる。
- ・道の駅は自家用車や貸し切りバスを利用する観光客などに多く利用されているイメージがあるが、「観光客中心」の道の駅は **か** % であり、半数以上は「近隣居住者中心」の道の駅である。
- ・道の駅で営まれている代表的な事業は3つあるが、そのうち、「観光客中心」の道の駅と「近隣居住者中心」の道の駅で一番大きな差が見られるのは、**き** であり、「近隣居住者中心」の道の駅の方が **き** の割合が **く** ことがわかる。

- (4) 道の駅が地域活性化の拠点^{きょてん}としても期待されていることを知った太郎さんは、様々な道の駅の取り組みを調べ、カードにまとめました。次のア～ケのカードを、「住民へ安心なくらしを届ける」「産業^{しんこう}振興に取組む」「地域外からの活力を呼ぶ」の3つのキーワードで3枚ずつに分類したとき、最もふさわしいものをそれぞれ記号で答えなさい。
- ※振興…盛んにすること


ア 移動販売車が地域をめぐり、買い物が不便なお年寄りに食料や生活必需品^{ひつじゅひん}を販売している。




イ 旅行者が快適に利用できるきれいなトイレの認定を県から受けて、イメージアップをはかっている。




ウ 「農家レストラン」^{さいばい}を設置して、地域で栽培された採れたて野菜を使った料理を提供している。




エ 観光客が、手軽に各種情報^{こうしゅう}を得られる無料公衆無線LAN^{かんきょう}環境を整備している。




オ 農産物直売所には、地元生産者から^{*}調達した農産物が並んでいる。
※調達…取りそろえること




カ 地域住民を対象に電球交換^{こうかん}や家具の組み立てなど、困っていることを引き受けるサービスを行う。




キ A町への移住・定住のための住宅情報や仕事^{しょうかい}情報を紹介するコーナーを設置している。



ク 宅配をする際、普段と変わったことがないかを見守る「地域見守り隊」^{ふだん}としての役目も果たす。



ケ 会社を退職し、農家へ転身したBさんは、リンゴだけでなく、手作りのリンゴジュースも農産物直売所で販売している。



- (5) 太郎さんは、これまで調べてきたことをもとに、道の駅についてまとめを書きました。まとめの ～ に当てはまる最もふさわしい言葉を、下のア～コから1つずつ選び、記号を書きなさい。

まとめ

元々、ドライバーが立ち寄るトイレ・休けいし設として生まれた道の駅は、今ではそれ自体が となり、まちの特産物や観光資源をいかして を呼び、地域に仕事を生み出す核へと独自の進化を遂げ始めている。特に中山間地の多い長野県では、人口減少や が進む中、買い物支援や安否確認^{しえん あんび}などにより、 の拠点となっている。また、農産物直売所や加工所、食堂は働く場だけでなく、高齢者の の場を生み出すことにもつながっている。

- [ア もの イ 情報化 ウ 生きがい エ 道路 オ 地域医療^{いりょう}]
 [カ 遊び キ 目的地 ク 地域福祉^{ふくし} ケ ひと コ 高齢化]

著作権法に基づき
公開しません。

(末永幸歩「自分だけの答え」が見つかる13歳からのアート思考』より)
 (出題の都合により、本文の文字の書体および色を適宜変更してあります。)
 ※模索……問題を解決する方法がわからなくて、探し求めること。
 ※ウンチク……十分に研究してたくわえた、学問や技術の深い知識。
 ※プロセス……過程。

(1) — 線部 a 「本来の意味での『アート鑑賞』」とはどのようなことか、三十字以上四十字以内で書きなさい。

(2) — 線部 b 「こうした危機感」とはどのようなことか、六十字以上七十字以内で書きなさい。

(3) — 線部 c 「こうした思考プロセス」について、あなたがこれまで興味をもって調べたり学んだりした体験から一つ例を挙げ、説明しなさい。ただし、次の条件にしたがって書くこととします。

条件

・ 線を引いた①③の一つ一つとあなたの体験を結び付けて具体的に書くこと。

・ 例にならって、線部の①③と結び付けて書いたところの書き出しの右側に、①③の番号をそれぞれ書くこと。

例

①	わ	た	し	は	、	○	○	○	と	考	え	、	⋮	⋮	⋮
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・ 文字数は、百六十字以上二百字以内として一マス目から文章を書き、改行はしないこと。また、行の最後のマスには、文字や句読点などを一緒に書かず、句読点などは次の行の最初のマスに書くこと。なお、条件にある①③の番号は字数にふくめない。

絵

【問4】 次の絵を見て文章を読み、各問いに答えなさい。

文章

著作権法に基づき
公開しません。

クロード・モネ
(1840～1926年)

すいれん
睡蓮

1906年ごろ／キャンパスにゆさい油彩
大原美術館しよぞう所蔵

著作権法に基づき
公開しません。

著作権法に基づき
公開しません。